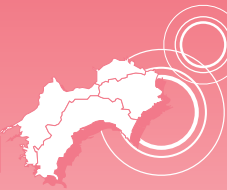


SPODフォーラム 2014



“気づき”と“振り返り”が大学を変える
～成長を確かなものにするために～

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

SPODフォーラムは… 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2014/ 8/27 (水) ▶ 29 (金) 高知大学 朝倉キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)／高知大学／愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

参加申込

SPOD加盟校の教職員限定受付 2014年 6月27日(金)正午～7月11日(金)正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2014年 7月15日(火)正午～7月29日(火)正午

事前申込制(先着順)

申込はWEBから

<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>
※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

参加費※

SPOD加盟校の教職員

無料

SPOD加盟校以外の教職員

7,000円

※懇親会費は除きます。

特徴

1

多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2

職場で使える
実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3

SDプログラムも
多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。SDプログラムは教員の方も参加いただけます。

一参加者の声一

- 新しい色々な情報を得ることが出来て勉強になります。学んだことを自分の大学に合うように整理して、学内の教職員に伝えています。
- 授業で抱えている問題点が具体化されたことにより、業務において早速改善された部分があります。
- どの講座もグループでの活動が取り入れられていたため、ただ顔を合わせただけでなく、様々な情報や意見を聞くことができました。また初心者でも参加しやすい雰囲気だったのがありがたかったです。



主な交通機関

※駐車スペースはありませんので、公共交通機関の利用をお願いいたします。

はりまや橋から

- ・バスで約20分…「朝倉大学前(土電バス)」・「朝倉高知大学前(県交通バス)」下車
- ・路面電車で約30分…「朝倉(高知大学前)」下車すぐ

JR高知駅から

- ・バスで約25分…朝倉大学前(土電バス)・「朝倉高知大学前(県交通バス)」下車
- ・路面電車で約30分…「朝倉(高知大学前)」下車すぐ
- ・JR土讃線下り15分…「朝倉駅」下車徒歩3分



●お問い合わせ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学教育企画課)

☎ 089-927-9154 ✉ E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

●当日お問い合わせ先

高知大学学務課

☎ 088-844-8652

開催スケジュール

●申込み開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。 <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

全体
受付

プログラムを受講する方は、必ず受講初日に全体受付を済ませてください。

■場所: 210番教室 ■時間: 8月27日(水)～29日(金) 9:00～



過去の資料等
はこちら

会場	共通教育1号館 125番教室	共通教育1号館 136番教室	共通教育1号館 141番教室	共通教育3号館 310番教室	共通教育3号館 311番教室	共通教育3号館 335番教室
1日目 8月27日(水)	10:00～12:00 FD・SD共通 2701A 経験から学ぶ力を育てる ー成長を促す振り返りとは?ー 塩崎俊彦(高知大学) 60名	SD 2701B SDコーディネーター養成講座 桑敬治, 阿部光伸, 吉田一恵, 丸山智子 (愛媛大学), 米澤慎二(追手門学院大学)他 32名	SD 2701C 研究支援職員としての基礎知識 ーゼロから始める研究者との協働ー 宮内卓也(高知大学) 28名		FD 2701E 大学版反転授業:TBLの手法 ー問題を作ってみようー 立川明(高知大学), 高畑貴志, 濱田美晴, 三島弘幸(高知学園短期大学) 40名	
	13:00～15:00 ※本プログラムの申込みは、 事前課題の都合上、7月25日 (金)に締め切ります。	SD 2702C 若手職員に贈る 「仕事の魅力発見!!」講座 ー気づきから築くアクションプランー 次世代リーダー養成ゼミナール(4期生) 32名	FD・SD共通 2702D 振り返りを活用した学生・教職員 のための効果的な能力開発手法 桑敬治, 山中亮, 林真輝 (愛媛大学) 48名		FD・SD共通 2702F データに基づく教育改善の 視点と方法ー教学IR入門ー 山田剛史, 清水栄子 (愛媛大学) 40名	
	15:30～17:30 FD 2703A 教えずに学ばせる授業 ー自律学習プログラム入門ー 坂田浩(徳島大学) 60名					
2日目 8月28日(木)	10:00～12:00 SD 2801A 職員向けマネジメントセミナー ーもし、あなたの大学にドロッカーが いたらー 桑敬治(愛媛大学) 60名	SD 2801B インストラクショナルデザイン (ID/教育設計)を活用した職員に よる企画・立案マネジメント 仲道雅輝(愛媛大学) 32名	FD 2801C ルーブリック評価入門 ー考える、つくる、活用するー 俣野秀典(高知大学) 40名	FD・SD共通 2801D 絶対に達成する技術 ー成長する人の内省とはー 永谷研一(株式会社ネットマン) 48名	FD 2801E 大人数講義法の基本 小林直人(愛媛大学) 56名	FD 2801F 理工系講義形式授業の中で 学生を輝かせるひと工夫 吉田博(徳島大学), 榎原暢久(芝浦工業大学) 30名
	13:00～15:00 FD・SD共通 2802A リーダーセミナーⅠ 「主体的な学び」を促進する カリキュラム・デザイン 佐藤浩章(大阪大学) 80名	FD・SD共通 2802B 国際連携系職員養成プログラム (レベルⅡ)※ 留学生受入実践 バージン・ルース, 高橋志野 (愛媛大学) ※SPOD-SDマップに基づき開講される プログラムです。 32名	FD 2802C いろいろ・eラーニング・ワーク ショップ 竹岡篤永(高知大学) 40名	SD 2802D 部下・若手職員の育成 ー自ら学び成長するー 米澤慎二(追手門学院大学) 32名	FD・SD共通 2802E 学びを促進するための学習支援と アカデミック・アドバイザー 清水栄子(愛媛大学) 40名	FD・SD共通 2802F ツールを使ってコミュニケーション ー自己理解と他者理解ー 野口里美(香川大学) 28名
	15:30～17:30 FD・SD共通 2803A リーダーセミナーⅡ われわれは どのような経営視点をもてばよいのか? ー大学のマネジメントを考えるー 大坪檀(学校法人新静岡学園理事長) 80名		FD 2803C ジグソー学習法を用いた グループワークの進め方 村田晋也(九州国際大学) 30名	FD・SD共通 2803D 大学防災マネジメント ー地域とおたがいさまの関係をつくるー 大概知史(高知大学) 30名	SD 2803E 若手・中堅職員のための コーディネート力養成講座 仲道雅輝, 丸山智子(愛媛大学) 32名	FD・SD共通 2803F 発達障がいについての基礎知識 と高等教育機関での支援体制に ついて考える 松本彦彦(高知大学) 30名
18:00～20:00 懇親会 会場: 高知大学生生活協同組合 食堂スペース 会費: 4,000円(事前申込み制) ※懇親会后“はりまや橋”方面への移動バスがあります。						
3日目 8月29日(金)	10:00～12:00 FD・SD共通 2901A 大学の危機管理 ー事例から考えるハラスメントー 阿部光伸, 清水栄子, 吉田一恵 (愛媛大学) 64名	FD 2901B 学生参加型授業入門 藤本佳奈(香川大学) 30名	FD・SD共通 2901C プロジェクトマネジメント 丸山智子, 仲道雅輝(愛媛大学) 32名	FD 2901D はじめましょうアクティブラーニング ー橋本メソッドの事例からー 金西計英(徳島大学) 40名	FD・SD共通 2901E 地域体験を学びに変える ー“どうしようもない”から 気づく力をつけるー 今城逸雄(高知大学) 30名	SD 2901F スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ ーキャリアを見つめるための自身の 可視化法ー 野口悟, 浜田昌代(高知大学) 32名
	シンポジウム 会場: 高知大学生生活協同組合 食堂スペース 大学人のためのリフレクション事始ー人材育成研究・実践のフロンティアから考えるー ファシリテーター: 中原淳(東京大学)/俣野秀典(高知大学) 200名					

連続受講が必須のプログラム 00名 プログラム定員